

①相手をける、またはけろうとする



相手をける

- ・相手をけているときはわかりやすい。



相手をけろうとする

- ・実際には相手をけていなくても、けろうすることも直接フリーキックの違反なので、無謀に足を振り込んで相手をけろうとしたと主審が判断すれば直接フリーキックのファールとなる。

②相手をつまずかせる、またはつまずかせようとする



トリッピング

- ・tripをつまずかせると訳している。
- ・不用意に足をひっかけたり、ジャンプしている相手を身体でトリップして倒そうとしたりすると直接フリーキックの違反となる。



身体でのトリッピング

- ・不用意に身体でトリップされるとバランスを崩し、倒れ方によっては非常に危険なのでプレーヤーはやってはいけない。

③相手に飛びかかる



ジャンピングアット



ジャンピングアット

- ・相手に、不用意に、無謀に、過剰な力で飛びかかれれば直接フリーキックの違反となる。
- ・両足を上げて飛びかかるのは無謀であり、下図のように身体で激しく飛びかかっていくのは過剰な力で飛びかかったことになる。

- ・ジャンプヘディングのせり合いのときなど、ボールをヘディングするようなふりをして、相手に飛びかかるのは悪質なファールプレーである。

④相手をチャージする



正当なチャージ



ファールチャージ



ファールチャージ

- ・チャージというのは身体で相手の身体に強く当たっていくことで、肩で相手の肩の辺りに当たっていくチャージは正当なチャージとして認められている。

- ・どんな当たり方をしていっても、「不用意に、無謀に、あるいは過剰な力で」行ったと主審が判断したものは、すべて直接フリーキックで罰せられる。
- ・ボールを奪い合う中で肩で肩にいくチャージであっても、必要以上に強い力でいったのは、過剰な力でのファールチャージとして直接フリーキックで罰せられる。

- ・タイミングの悪いチャージやゴールキーパーへのチャージは、肩で肩にいったとしても不用意、無謀なものとして直接フリーキックで罰せられる。

⑤相手を打つ、または打とうとする



相手を打つ

- ・相手を打つ（ストライキング）、または打とうとする、と直接フリーキックで罰せられる。
- ・手で相手を打つのはわかりやすいが、クロスプレーやすれちがいざまに肘で打ったりする悪質なストライキングにも審判は注意しなければならない。



相手を打とうとする

- ・プレーヤーは、相手をなぐっていなくても、なぐろうとしたと主審が判断したときは直接フリーキックで罰せられる。



相手を打ったと見なされる

- ・また、ゴールキーパーが故意に相手にボールを強く投げつけたときは、“打った”と見なされ直接フリーキックで罰せられる。

⑥相手を押す



プッシング

- ・相手を手で押す（プッシング）のはわかりやすい。手ではなく身体で押すのもファールである。
- ・ゴールキーパーが持っているボールで相手を押したときも直接フリーキックで罰せられる。



身体でのプッシング

- ・また、フォワードなどがボールをレシーブするとき、マークしている後方の相手を身体で押し、その反動を利用してレシーブするのもプッシングである。



身体でのプッシング

- ・守備側プレーヤーが相手プレーヤーを後方からマークしていて、身体で押してバランスを崩させてボールを奪おうとするのもプッシングのファールである。

⑦ ボールを奪うために相手にタックルをし、ボールへ触れる前に相手に接触する



ファールタックル

- ・ボールにスライディングをしたが、ボールに触れる前に相手プレイヤーの足に触れているので直接フリーキックで罰せられる。
- ・このようなケースで後方から無謀に、過剰な力でタックルに入り相手を倒せば、警告か退場になる。



ファールタックル

- ・相手の後方からボールにタックルにいったが、ボールに触れる前に相手の身体に当たっているので直接フリーキックで罰せられる。

⑧ 相手を抑える



ホールディング

- ・ホールドには、手で相手をつかむのも、ジャージやショーツをつかむのも相手を抑えたとして罰せられる。



ホールディング

- ・相手と並んでせり合っているときに、相手の腹や腰のあたりを片手で巻くようにしてバランスを崩させるのも、抑えたとして罰せられる。



いずれもホールディング

キープしたまま

- ・お互いに身体を接してのプレーで、前にいる相手に両手を広げて捕まえたり、後方の相手に両手を後ろに回して捕まえたりするのも、抑えたとして罰せられる。

⑨ 相手につばを吐きかける



スピitting

- ・相手につばを吐きかける（スピitting）行為は、日本ではほとんど見られないが、国や民族・種族によっては相手を蔑視したり侮辱する行為として行われている。
- ・国際的なスポーツであるサッカーでは、相手を侮辱したり、見下す行為は許されないとして、スピittingは直接フリーキックで罰することになっている。

⑩ ボールを意図的に手で扱う（自分のペナルティーエリア内のゴールキーパーを除く）



ハンドリング

- ・ハンドリングの反則といわれている違反のことである。
- ・手または腕でボールを意図的（故意：deliberately）に扱ったときにのみ罰せられる。



ハンドリングの反則ではない

- ・ボールが手や腕に当たればハンドリングと理解しているプレーヤーやサポーターがいるが、それは誤りである。反射的にボールが顔などに当たるのを避けることは許されている。



ハンドリング

- ・プレーヤーの中には、審判にわからないように小さなモーションでボールを故意に手で扱ったりするので、審判は注意して見落とさないようにすることが必要。

ハンドの主張が明確な場合は「ハンド」を叫ぶかジェスチャーで示す。